

七小校長室便り

開校52年目

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.2 令和6年(2024年)6月3日

七小の取組や行事について、お伝えします。

先週、校長室便りNO.1を配信いたしました。早くお知らせしたい気持ちはありましたが、内容をまとめる余裕がなく、ようやく出せたところです。6月も様々な取組がありますので、余裕がなくなる前にNO.2を作成いたしました。これから不定期に時間や余裕があるところで、配信してまいります。ご容赦くださいませ



<情報発信の要として>

本校の情報発信の大切な取組として、学校だよりがあります。

今年度は、学校だよりと学年便りとの統合を行い、行事予定を一本化して、それぞれのお便りに掲載しています。学年便りにおいては、学年としての取組について、シンプルに分かりやすくなるような形式にしています。

また、昨年度からは、ICTを有効に活用し、できるだけ迅速に情報をお届けする方法として、「すぐーる」で学校だよりや校長室便りを配信するようにいたしました。PTAのお便りなどもすぐーる配信として、保護者の皆様のお手元に届くようになっています。ご利用の状況は、いかがでしょうか。紙媒体が減ったことにより、SDGsにも関連する取組となっているところです。

すぐーるについては、教育委員会や給食ステーション等からも配信がされておりますので、情報量が多くなっていると思いますが、これからも効果的で、分かりやすいものにしながら情報提供を行ってまいります。ご覧いただきますようお願いいたします。

<日光移動教室>

6年生の宿泊行事である「日光移動教室」を6月5日(水)から6月7日(金)の3日間、実施いたします。6年生にとっては、友達と共に生活をするとともに、日本の歴史に触れる機会であり、卒業生としての思い出の1つとなる行事です。



七小の顔として、代表として、現実社会における1つの取組の場となります。

名前の通りに、教室を宿泊地の社会の中で移動させながら学ぶ、貴重な体験の3日間です。健康で元気に行って帰ってまいりたいと思います。6年生の保護者の皆様には、すぐーるを使って、できるだけ6年生の様子を配信したいと思いますので、配信数が増えてしまいますが、ご理解の程、よろしくをお願いいたします。

(夏季休業中に実施する5年生の野外体験教室においてもすぐーる配信する予定です。)

<校外学習・遠足の引率の取組から>

各学年では、低学年の生活科や中学年では社会科、理科などの学習で、学校の外に出て学ぶ校外学習を実施しています。高学年においては、稲作体験、邦楽や音楽の鑑賞教室など、教室以外の場所で学習する機会を設けています。また、社会科見学においては、公共交通機関等を使用して、地域で見ることや体験することができない場所に出かけて学んでいます。

その際に、教員以外の指導員や支援員等の方に引率者として同行し、教員の児童管理の補佐的な役割をお願いしています。子供たち一人一人の状況に応じて校外に出かけるには、多くの人々の力があることで、安心して学ぶことができるとともに、安全に事故なく帰ってくることができます。

人の力であるマンパワーを学校現場では、とても大切にしているところです。今年度、低学年の安全指導のための校外学習を行いました。その際に保護者の方にご協力をお願いいたしました。お陰様で、安全に指導を行うことができました。

やはり、子供たちの安全と安心を高めていくためには、マンパワーが必要なところです。今年度においては、保護者の方にボランティアとしてご協力をお願いすることがあると思いますので、ご理解をいただき、ご参加いただけましたら、有難いところです。

来年度のコミュニティ・スクールに向けた取組の1つとして、ご理解をお願いいたします。学校と保護者・地域の連携が、これからの教育活動の大切なポイントです。



<くるみ・はばたき・きこえとことば>

本校には、特別支援学級のくるみ学級、特別支援教室のはばたき、きこえとことばの教室の3つの特別支援教育に関する子供たちの居場所となるところが設置されている学校です。多くの方に認識いただいているところですが、ここで改めて、紹介と今の様子をお知らせしたいと思います。

○ **くるみ学級**には、現在28名の子供たちが学びの場として在籍しています。令和3年のコロナ禍真ただ中で設置され、指導が始まりましたので、今年度で4年目となります。1年目の児童数は、13名で学級数は2学級でした。そして、現在は、毎年、児童数が増えて4学級となり、多くの子供たちが自分の苦手なところと向き合いながら学校生活を送っています。

現在のくるみ学級の傾向として、令和5年度の昨年度からは、特に、通常の学級での学びを進める子供たちも増えてきており、3つの傾向が見られます。

1つは、くるみ学級での学びを大切にしている子供たち、また、1つは、通常の学級との交流学習や共同学習を大切にしている子供たち、そして、もう1つは、上記の両方の学びの形を大切にしようとする子供たちというような状況があります。

くるみ学級は子供たちの安全と安心の大切な居場所として、これからも大切に指導し、関わり、よりよい生活へと繋いでいく取組を展開していきます。

○ **はばたき**での指導においては、通常の学級に在籍をしながら、子供が苦手に行っている集団行動における行動や態度、様々な場面における心の有り様など、個に応じた指導を通して様々な学びを展開しています。第三小と第七小を兼務している先生方で構成されていて、はばたきの先生方は、拠点校である第七小学校に所属している先生方です。

指導を受けている児童数は、両校合わせて62名となっており、就学相談を経て入級する仕組みになります。年度途中での入級も、退級もありますので、児童数は変動することになります。今年度は総合教育センターと連携しながら、よりよい入級の仕組みについて検討し実践しているところです。学校や教室が子供たちの安心できる場所であり、安全に過ごせる毎日となるよう、引き続き指導を高めていきたいと思っています。

○ **きこえとことばの教室**には、七小の子供だけでなく、市内の他の小学校や近隣の市外の小学校からも、指導を受けに来ています。4年前は、ことばの教室だけでしたが、3年前からは、きこえの教室としての指導も行っており、通級指導に通っている児童は、60名を超えるところです。

くるみ学級やはばたき、通常の学級の指導において、きこえとことばの教室の指導のシステムや時間も違って、学校の中にもう一つの学校の流れがあります。先生方の働き方も違いますが、第七小学校の同じ先生方の仲間として、学校づくりに頑張っています。

入級や退級においては、きこえとことばの教室の先生方が中心になり、就学相談と協力しながら、適正で安心できる環境で、子供たちが指導を受けるための安全に配慮しながら、運営しています。

国立第七小学校は、子供たち一人一人が、その子らしくいられる教育環境の実現に向けて、様々な相談し、連携しながら特別支援教育の最前線の学校として懸命に努めています。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

【校長のつぶやき】

これまで、「校長のつぶやき」では、様々な自分自身のことをつぶやいてきました。今年度は、管理職になる前の取組について振り返りながら、つぶやいてみたいと思います。どうぞ、お付き合いください。

私の学級づくりの1つに、国語の音読を通じた取組があります。音楽で培ったリズム指導のノウハウや合唱経験で培われた声の出し方等を使いながら、子供たちに声を出すことの楽しさを感じさせ、詩の音読（群読）を使って、子供たちの学級としての有り様を教えてきました。

本校の子供たちもそうですが、声の出し方は、なかなか難しいもので、大きく出せばいいという訳でもなく、また、歌を歌うわけではありません。しかし、声の響きや出し方が分かってくると、子供たちの声を出すことそのものに楽しさや喜びが現れ、人の前で披露することを心待ちにする程になります。特に、サプライズとして、授業参観の際には、授業の最後に保護者の皆さんに聞いていただく機会を作ったことで、子供たちだけで音読（群読）を行うまでになりました。1年生から6年生の全ての学年での取組があり、今も私の学級づくりの大切な武器でもあります。

担任となることは、今のところはありませんが、もし、その機会があるなら、挑戦してみたいと思うほどです。